
中国信息（畜産）

2008年4月10日号

◎2008年2月における飼料市場情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年2月における中国の飼料市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

2008年1～2月の飼料製品価格は、引き続き大幅に上昇する勢いを見せた。前年同期に比べ、飼料原料のうち大豆粕およびメチオニン価格が比較的大幅に上昇し、リジン価格もやや上昇した。2008年1月の中国の大豆かす、魚粉、リジン輸出は減少し、輸入はいずれも増加した。

1 1～2月の飼料製品価格は高水準で推移

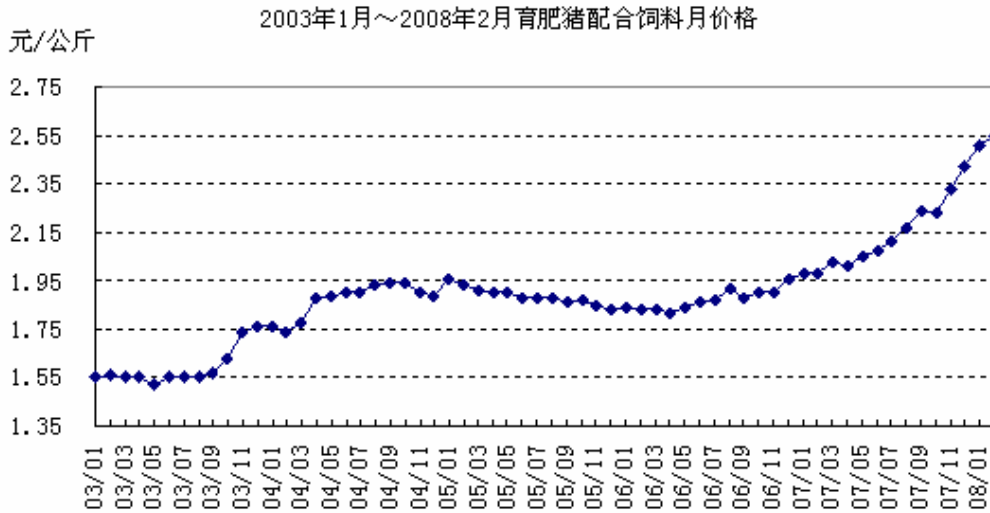
豚、ブロイラーおよびレイヤー飼料は引き続き上昇した。

（1）肥育豚配合飼料価格は比較的大幅に上昇

2008年1月の肥育豚飼料の平均価格は1kg当たり2.51円で、前年同月比26.8%高、前月比3.7%高となった。同じく2月は2.55円で、前年同月比28.8%高、前月比1.59%高となった。そのうち海南省および遼寧省の2月の豚飼料は、1kg当たり3元を超える水準となった。吉林省、遼寧省、河南省および山東省など食糧（穀物、豆類およびイモ類）主産地の豚飼料価格は全国平均よりも低く、吉林省の2月の豚飼料価格は、2.06元となった。

近年の畜産業の発展に伴い、中国の飼料価格は次第に上昇する傾向にあり、豚飼料価格の上昇速度が最も速く、ブロイラーおよびレイヤー飼料価格に接近あるいはこれを超えて推移している。2007年の飼料価格は比較的上昇幅が大きく、2007年3月の肥育豚配

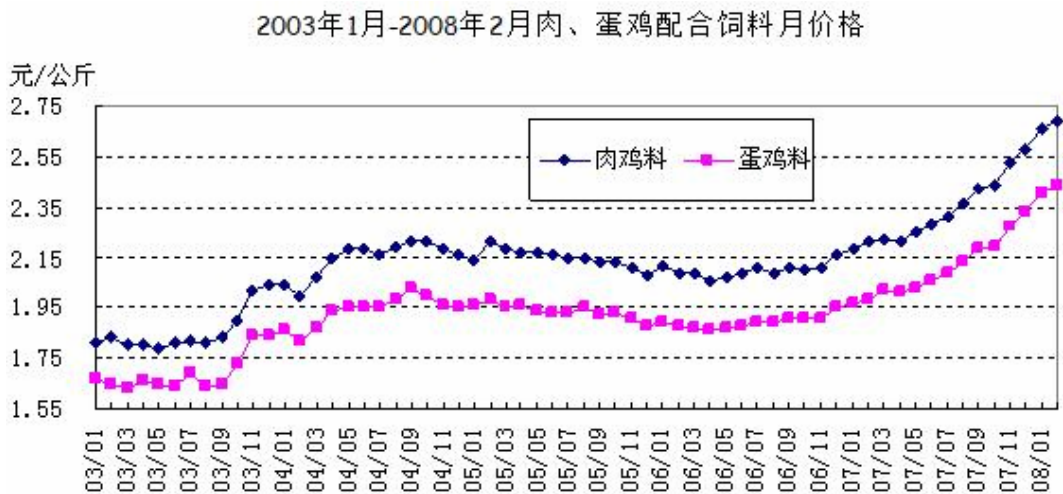
合飼料価格は1kg当たり2元を超え、同月のブロイラー飼料価格に接近した。2008年1月および2月の全国の豚飼料平均価格は2.50元を超え、レイヤー飼料価格を超えた。



(2) ブロイラー、レイヤー配合飼料価格は引き続き上昇

2008年1月の中国のブロイラーおよびレイヤー配合飼料の平均価格は、1kg当たり2.66元および2.41円で、それぞれ前年同月比22.02%高および22.33%高、前月比3.10%高および3.43%高となった。同じく2月は史上最高の2.69元および2.44元に達し、前年同月比21.72%高および23.23%高、前月比1.13%および1.24%高となった。

そのうち食糧主産地である吉林省、遼寧省、河南省、湖北省および黒龍江省のブロイラーおよびレイヤー飼料価格は全国平均より低く、特に吉林省のブロイラーおよびレイヤー飼料価格は最低で、それぞれ1kg当たり2.08元および1.82元となった。



ブロイラー飼料価格およびレイヤー飼料価格趨勢と豚飼料価格趨勢は基本的に同じ

で、いずれも持続的な騰勢を示しており、その平均価格は毎月史上最高を更新している。

配合飼料高騰の主な原因は二つあり、一つは畜産業の急速な発展により、肥育豚、ブロイラーおよびレイヤーなどの廃業飼料需要が増加していること、二つ目は主要な飼料原料の価格が上昇し、飼料の製造コストが増加していることである。

2 飼料原料価格は大幅に上昇

飼料原料価格は引き続き上昇傾向にある。

(1) 大豆かす：1月下旬から価格が持続的に上昇

2008年1月の中国の大豆かすの平均工場出荷価格は1トン当たり3,714円で、前年同月比70.37%高、前月比0.43%安となった。同じく2月は3,885円で、前年同月比66.95%高、前月比4.60%となった。

2008年1月上旬の大豆かす市場は弱含みで推移し、大豆かす価格は緩やかに下落していたが、1月下旬になると次第に上昇し始め、春節（旧正月：2008年は2月7日）前に南方で大規模な降雪・低温が発生すると、一部の地区では春節前に用意した品物が不足し、消費が旺盛となる春節期間を経て在庫量が大きく減少し、春節後には価格が大幅に上昇することとなった。全体的には、国内の大豆かす価格は主として安定的であり、価格の変動範囲は比較的小さく、現在の各地における大豆かす価格は、基本的に1トン当たり3,880～4,070元と比較的高水準で推移している。

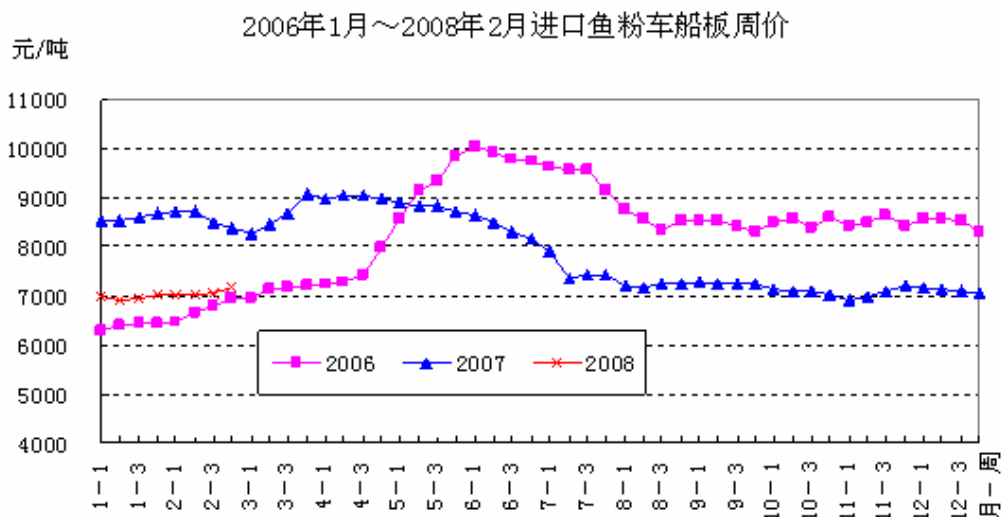


(2) 魚粉価格：1月後半から上昇

全体的に見て、魚粉価格は引き続き上昇する勢いを示している。2008年1月の輸入魚粉の車（船）板平均価格（注：車（船）板価格＝食糧などの貨物を倉庫から運び出し、駅の列車やトラック、港の船舶上に送り届けた場合の受渡価格のことで、出庫費用や短距離輸送費などを含む）は1トン当たり6,972円で、前年同月比18.80%安、前月比1.98%

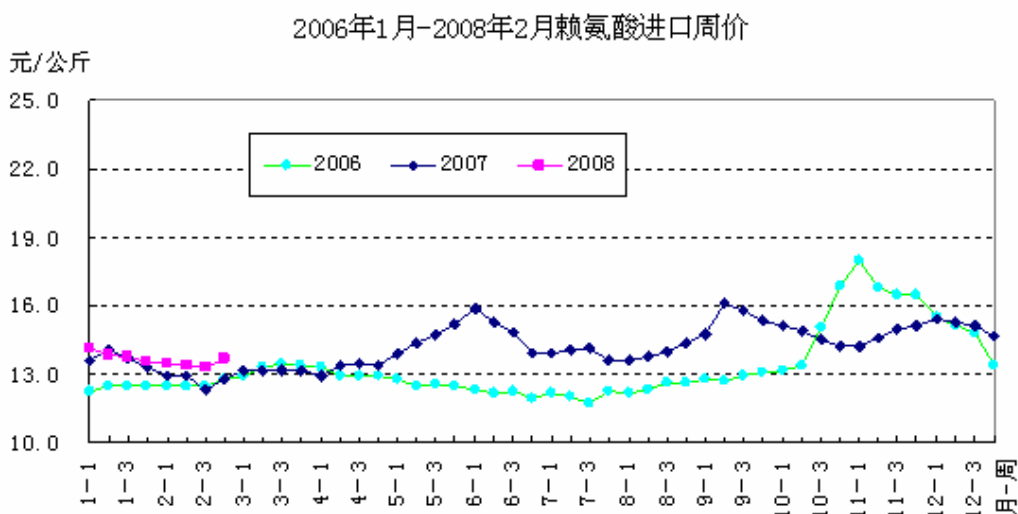
安となった。同じく2月は7,125円で、前年同月比16.87%安、前月比2.20%高となった。

2008年1月上旬は、一部の港で輸入魚粉価格が前年末に引き続き落勢にあり、取り引きの成立も明らかに弱く、魚粉市場価格は引き続き下落した。しかし、中旬になってやや騰勢に転じ、春節後には大幅な上昇が続き、2月25日には1トン当たり7,175元となり、1月14日（同6,927元）と比較して250元近く高騰した。



(3) リジン：輸入リジンの価格は引き続き安定

全体として、輸入リジンの価格は基本的には安定している。2008年1月の輸入リジンの平均価格は1kg当たり13.83円で、前年同月並み、前月比8.60%安となった。同じく2月は13.53円で、前年同月比6.17%高、前月比2.19%安となった。

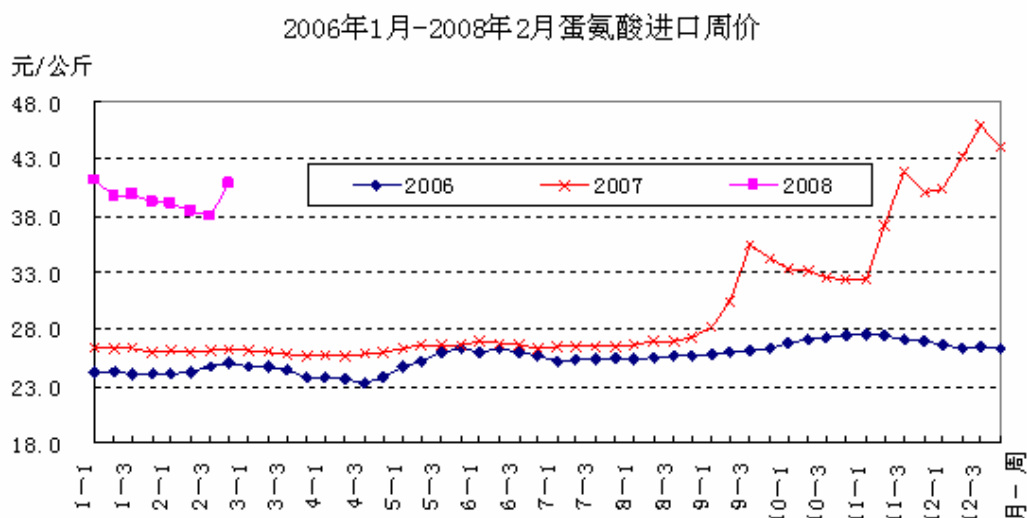


国産リジン価格の趨勢は、輸入リジン価格の趨勢と同一で、2月下旬には小幅に上昇

し、前年同期の水準を上回った。ただし、2月末の国産および輸入リジン価格は、前年末の水準を下回っている。

(4) メチオニン

2008年1月の輸入メチオニン（固体）の平均価格は1kg当たり39.94円で、前年同月比52.32%高、前月比7.93%安となった。同じく2月は39.38円で、前月比50.00%高、前月比1.41%安となった。



メチオニンの1月の市場価格は引き続き弱含みで、12月29日の輸入固体メチオニン価格が1kg当たり42~45元、液体メチオニン価格が同33~34元であったのに対し、1月末の固体メチオニン価格は同39.3~39.5元まで下落し、液体メチオニン価格は変化がなかった。2月は、特に春節後に固体メチオニン価格が急速に高騰し始めた。これは、国内の飼料企業がメチオニンの買い付けを次第に増加させていったことから、その市場価格が反発したためで、2月末の価格は同42~45元まで上昇し、かつその騰勢は持続傾向にある。

3 飼料原料の輸出入分析

2008年1月の中国の大豆かす、魚粉、リジン輸出は減少、輸入はいずれも増加し、メチオニンは輸出入とも増加した。

(1) 大豆かす：輸出は減少、輸入は大幅に増加

2008年1月の中国の大豆かす輸出は、前年同月比30.79%元の6.25万トンとなった。主な輸出相手先は日本、韓国およびベトナムで、大豆かす輸出総量の78.27%を占めている。主な輸出省区は黒龍江省、江西チワン族自治区、江蘇省および遼寧省で、大豆か

す輸出総量の83.20%を占めている。

同じく輸入は、78.69%増の2.32万トンとなった。主な輸入相手先はインドで、大豆かす輸入総量の98.3%を占めている。主な輸入省市は山東省、広東省、上海市および天津市で、大豆かす輸入総量の91.60%を占めている。

(2) 飼料用魚粉：輸出は大幅に減少、輸入は増加

2008年1月の飼料用魚粉輸出は、前年同月比95.07%減の90.60トンで、すべて台湾向けであった。輸出省は全量、福建省であった。

同じく飼料用魚粉の輸入は、46.11%増の7.10万トンであった。主な輸入相手先はペルーおよびチリで、飼料用魚粉輸入総量の71.86%を占めている。主な輸入省は福建省、広東省、江蘇省、山東省および遼寧省で、飼料用魚粉輸入総量の68.25%を占めている。

(3) リジン：輸出は減少、輸入は大幅に増加

2008年1月のリジン輸出量は、前年同月比48.14%減の9,876トンで、主な輸出相手先はオランダ、ベルギーで、リジン輸入総量の52.48%を占めている。主な輸出省は吉林省および山東省で、同輸出総量の95.10%を占めている。

同じく輸入は2.3倍の2,777トンで、主な輸入相手先は米国およびブラジルであり、リジン輸入総量の96.13%を占めている。主な輸入省市は広東省、天津市および北京市で、同輸入総量の89.09%を占めている。

(4) メチオニン：輸出入ともに増加

2008年1月のメチオニン輸出量は、前年同月比31.70%増の90.82トンとなった。主な輸出相手先は台湾で、メチオニン輸出総量の44.05%を占めている。主な輸出省市は北京市および江蘇省で、同輸出総量の60.39%を占めている。

同じく輸入量は同49.91%増の7,888トンとなった。主な輸入相手先は日本およびベルギーで、メチオニン輸入総量の79.14%を占めている。主な輸入省市は北京市、天津市、遼寧省および広東省で、同輸入総量の70.60%を占めている。

4 国際市場の飼料価格は上昇

国際飼料原料価格は農産物価格上昇の影響を受け、大豆かすは引き続き高水準で推移、魚粉価格は安定的、メチオニンおよびリジン価格は高水準が続いている。

【大豆粕】米国の大豆かす価格は騰勢が継続している。2008年1月の米国の大豆かす価格は1トン当たり331.28ドルで、前年同月比73.85%高、前月比5.24%高となった。

【魚粉】ペルーの魚粉価格は、引き続き強含みで推移している。ペルーのたんぱく質

65%普通級FAQ（中等品）魚粉の本船渡し（FOB）価格は、1トン当たり830～840ドルとなった。チリの魚粉価格は安定的で、目下の南部地区のたんぱく質65%魚粉のオフア一価格は同800～830ドル、68%たんぱく質魚粉のそれは同1,020～1,050ドルで、北部地区の65%たんぱく質魚粉は同830～850ドル、68%たんぱく質魚粉は1,000～1,020ドルとなっている。

【リジン】ヨーロッパのリジン価格は、強含みで推移している。2008年1月のリジンの取引価格は、一般に1kg当たり1.45～1.47ユーロの幅にあったが、2月に入るとヨーロッパのリジン価格は強含みとなり、需要の高まりによって価格が上昇し始めた。2008年2月の価格は、同1.60ユーロ前後で推移した。

【メチオニン】ヨーロッパのメチオニン価格は上昇傾向にある。2008年1月のヨーロッパのメチオニン市場は大きな変化がなく、その価格は1kg当たり2.60ユーロ水準を維持したが、2月に入ると市場が品薄となり、需要の強まりとともに価格が上昇し始め、同2.9ユーロ前後まで高騰した。